

特集 第58回 道本部定期大会

# 組織強化・拡大を重点課題



全道から541人が参加し、2017年度方針を確立した=9月29～30日、札幌市・ポールスター

## 新たな政治決戦にむけ 日常活動を強化

### 組合員の期待に応える

道本部は、9月29日、30日の両日、ホテルポールスター札幌で「第58回定期大会」を開き、全道から541人(うち女性75人13・9%)が参加した。大会では一年間の運動方針と、秋期闘争をはじめとする当面の闘争方針、組織強化・拡大長期計画など10本の議案や、賃金、反原発にかかわる2本の決議と大会宣言案を採択し、大出委員長をはじめ新執行体制を確立した。

2日間の討論で経過2人、方針に30人の発言があり方針が補強された。(2～3面参照)

### 道本部あいさつ

大出委員長は相次ぐ台風のお見舞を述べ、「甚大な被害を受けた。『災害救援カンパ』の積極的な取り組みを要請する」とし、「『経済闘争』『政治闘争』『組織強化』の3点の運動課題に触れあいさつした。

経済闘争については「安倍政権が進める働き方改革について、本質を見抜く必要がある」とし、社会的な世論喚起にむけた取り組み



執行委員長・大出彰良

を展開していく」と決意を述べた。また、2016年度確定闘争では「組合員の期待に応えるべく人権を最低限としながら労使交渉を強化しなければならぬ」と参加者に呼びかけた。

政治闘争については「安倍政治に終止符を打ち、国民・労働者のための政治を取り戻す。労働運動と政治との関連性を組合員に訴えることを意識した取り組みを強化しよう」と訴えた。

組織強化については「最重点課題と位置付けている『次代の担い手育成』『新規採用者』『非正規労働者』の組織化に加えて、『地方本部の統合・再編』を全体で取り組み道本部組織建設をはかる」と訴えた。

## 青山環ちゃん、心臓移植手術成功



日高町職元執行委員長である佐々木光由氏のお孫さん「青山環(あおやまたまき)ちゃん(2歳)は、心臓の機能が低下する進行性の難病で「拡張型心筋症」という重い心臓病を患い、渡米して心臓移植手術を受けることが必要な状態でした。

支援カンパ 204万円集約  
だが、9月11日、心臓移植手術が成功しました。米国で心臓移植手術を受けるには、3億2千万円の費用が必要にもかかわらず、「たまきちゃんを救う会」が今年2月に結成され、全国6地域での募金活動を展開していただきました。道本部は、日高町職からの要請を受け、「たまきちゃんを救う会」の趣旨に賛同し、支援カンパの取り組みを実施し、53地方本部・単組・総支部(社保労連北海道含む)から、2,039,634円を集約しました。この間の取り組みに心から感謝申し上げます。

### JICHIRO スケジュール

10月	
12日(水)	道政への「要求と提言」提出(札幌市)
14日(金)	全国自治研集会(～15日 仙台市)
15日(土)	指定管理者制度に対する取り組み方針確立にむけた学習会(札幌市)
19日(水)	「戦争をさせない」総がかり行動(札幌市)
21日(金)	自治体退職者会北海道本部第33回定期総会(札幌市)

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名:minnade  
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

### 賃金確定、現業公企統一闘争スケジュール

- ◇道本部現業・公企総決起集会 10月22日(土)
- ◇地本別現業・公企総決起集会 10月24日(月)～11月14日(月)
- ◇要求書の一斉提出 10月24日(月)
- ◇回答指定日 11月2日(水)
- ◇重点交渉期間 11月4日(金)～16日(水)
- ◇組合旗掲揚 10月24日(月)～闘争終結まで
- ◇腕章着用 11月14日(月)～闘争終結まで
- ◇超勤拒否 11月16日(水)～11月17日(木)
- ◇出張・諸会議拒否 11月17日(木)
- ◇道本部統一行動日 11月17日(木)

1時間を上限とするストライキ戦術を配置

### 第28回 労文協 講座

2016年度

- 期間 2016年10月～2017年3月
- 時間 18:00～20:00(講演1時間30分他質疑応答)
- 会場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目) 6回通し券 3,000円・当日受講 700円
- 主催 労文協または自治労会館事務局

～テーマと講師～

1回目	10月19日(水)	プーキンとブロックの叙事詩を声演するー前編1917年ロシア十月革命連綿 工藤 正廣(北海道大学名誉教授・ロシア文学)
2回目	11月16日(水)	再度の奄美史ー改めて『父の物語』に思う 森山軍治郎(民衆史家)
3回目	12月21日(水)	太宰 治文学の新解釈ー「思い出」を中心にー 神谷 忠孝(北海道大学名誉教授)
4回目	1月18日(水)	戦後派作家と教養 水溜真由美(北海道大学大学院 文学研究科准教授)
5回目	2月22日(水)	ヒトの寿命は延ばせるかー幹細胞と寿命の話 柄内 新(前北海道大学大学院教授)
6回目	3月15日(水)	小樽をめぐるもうひとつの群像ーマイナーな人々に光をあててー 北村 巖(北海道文教大学講師)



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

年明けの衆議院解散論が広がっている。自民党は一票の格差を是正する新しい選挙区が来月5月に固まる前に実施し単独過半数を狙っている。現時点で解散を強行すれば憲法上大きな問題が生じる。前回衆議院選挙の際の三党合意に

### 朝風

よる国会議員定数不均衡の抜本的是正は、少なくとも、次の総選挙までに行わなければならない必須の事項だ。何ら抜本的な改正を行うことなく解散し、総選挙を行うのは国民の声を無視することになる。露骨な自己都合解散である。

- ### 第58回定期大会特集号
- 2～3面 大会質疑討論
  - 4～5面 写真、機関紙コンクール、来賓あいさつ
  - 6面 事前会議・評議会報告
  - 7面 道人事委員会勧告、道消防協40周年記念祝賀会、職場だより「日高地方本部」、ささきさんの国会だより
  - 8面 2017年度道本部執行体制

# 『経過』を大切に組織強化・拡大

## 経過に対する質疑



佐藤代議員  
(夕張市職労)

財政再建にむけ支援を  
提供することができた。

再建にむけて第三者委員会による計画の検証を行い、抜本的見直しを行っている。引き続きみなさんの支援を。

■全国野球を組織強化に  
全国野球大会に出場している。



担振代議員  
芳賀代議員  
(石狩市職労)

勝へ進出した。全国3位という成績で選手は自信となった。職場の組織強化につながることを期待している。

## 方針に対する質疑



結城代議員  
(斜里町労連)

役員を担える環境整備を  
たつては拙速な同意をすることのないよう、連合推薦町議などに働きかけ、確固たる安全体制の強化を強く求めている。

男女がともに担う自治労北海道本部計画策定で、単組・地本役員を担う女性が増え、運動は前進している。仕事・家庭・組合の両立が大変だという声もあがっている。女性が役員を担いやすくなるような環境整備をお願いする。

■第2の賃金闘争重点に  
昨年10月に公立病院の統合一再編が提案された。学習会などの対策を進めてきた結果、病院職員の組織化や厚沢部国保病院の再編阻止など成果を得た。今後も公立病院プラ

策定作業の早期着手など対策を進める。道本部の情報提供を求める。

■自治研活動で地域と交流  
地域との交流の方策として自治研活動に取り組んでいる。自治研活動を通じて感じた楽しさや充実感を、今後の組合活動・地域活動の一助となるよう取り組みを継続するとともに諸問題解決にむけて検討をしている。道本部とともに引き続き取り組みを進めたい。

■足寄で消防協成の議論  
6月議会で窓口業務の民間委託が提案された。約半数の嘱託職員が長期雇用されているが、民間委託による解雇、サービ

## 経過質疑に対する答弁



三浦書記長

夕張問題については、道本部、地本、単組が一体で取り組んできた。今後も、処遇改善などの取り組みや本部と連携して

総務省対策をしていく。全国野球大会では、石狩市職労は松江市職に敗れたもの奮闘した。来年も野球大会、女子バレー大会に参加して、交流を深めてほしい。

■病院職員の組織化を得る  
松前病院は7月に病院長が退職。組合は地域医療と職員の雇用確保にむけて要求書を提出したが医師確保は難しい。地域医療を守るため、住民と一緒に運動を進めるのが重要。

■地方本部の統合一再編  
北海道で各地本の意見交換を行い、地方本部の役割を再確認し、新たな地方本部像の提言を目標に取り組む。弟子屈町に働きかけ、学習会を行うことを確認した。組織強化・拡大を取り組む。

■国保法改正は市町村と  
5月に国保法改正法案が成立し、国保制度が創立されて以来の大改革。「道政への要求と提言」への支援に感謝。北海道ではワーキンググループを立ち上げるなど市町村とともに諸問題解決にむけて検討をしている。道本部とともに引き続き取り組みを進めたい。

■人事評価は労使交渉で  
人事評価制度は評価する側、される側ともに不明な部分が多く、モチベーションは上がらず不安をあおる状況。賃金を削減する道具にされてはならない。納得性、妥当性が得られる労使交渉が必要。情勢認識を一致させるために機関紙・ホームページの活用が必要。

■交通政策担当者配置を  
自治労・都市交が統合一して4年間の経過措置が終了する。交通政策の浸透をはかるべく、各地本に交通政策担当者配置できる体制の構築が必要であり、現業公企都市交評議会「各地本」と二体となりの議論を開始したい。

■非正規の組織化取り組み  
非正規労働者の組織化

■13次長計について  
合併ありきでなく、地方本部間の横断的な相談・

## 各評議会報告



鷺津代議員  
(室蘭福祉事業協会労組)

指定管理者制度導入から10年が経過した。大事なことは発注者側の自治体労働者と受注側の民間労働者の「課題の共通理解」。各自治体単組で「雇用不安を解消する」組織討議をお願いしたい。あわせて公契約条例制定にむけた道本部の見解を。

■臨時非常勤等職員連絡会議  
非正規問題は労働者全体で町立中標津病院で嘱託職員協議会を結成した。

■二次医療圏の状況把握を  
道から北海道地域医療構想(素案)が出され、パブリックコメントへの意見反映を募集しており、道本部としても取り

■社会福祉評議会  
法改正により、保育・介護・福祉職場での労働環境悪化や生活困窮者のさらなる格差・貧困の拡大が懸念される。行政・

■泊原発の安全体制強化を  
泊原発の再稼働について、北電は2017年度中の再稼働を視野に入れている。「地元同意」にあ

■窓口業務委託で不安の声  
6月議会で窓口業務の民間委託が提案された。約半数の嘱託職員が長期雇用されているが、民間委託による解雇、サービ

■13次長計について  
合併ありきでなく、地方本部間の横断的な相談・

■非正規労働者の組織化  
非正規労働者の組織化

■政治フォーラム報告  
J R北海道の赤字路線の存廃問題、道内空港の民営化問題、泊原発の再稼働、道人事委員会勧告後の対応など課題は多くあるが、道本部連携をはかりながら対応を行っていく。

■政治フォーラム報告  
J R北海道の赤字路線の存廃問題、道内空港の民営化問題、泊原発の再稼働、道人事委員会勧告後の対応など課題は多くあるが、道本部連携をはかりながら対応を行っていく。



中谷代議員  
(くしろ児童厚生員ユニオン)

雇用年限のついている非正規職員の仲間づくりは困難をとまなう。正規職員の支援、協力がなければ組合加入・組織化は実現しない。非正規労働者の問題は、労働者全体の取り組みとして進めたい。かなければ解決しない。



佐々木代議員  
(函館病労)

組む。今後、経営形態の見直しや病院統合など加率的に展開される。単組・総支部でも二次医療圏での状況把握など情報提供を。



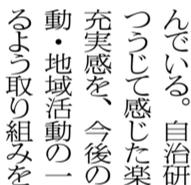
水野代議員  
(共和町職)

■泊原発の再稼働について  
泊原発の再稼働について、北電は2017年度中の再稼働を視野に入れている。「地元同意」にあ



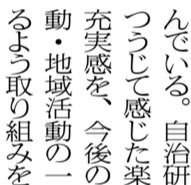
米田代議員  
(留萌地本)

■再編・統合一再編の情報提供を  
再編・統合一再編の情報提供を



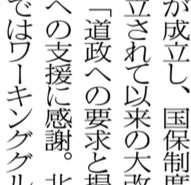
加門代議員  
(富良野市労連)

■自治研活動で地域と交流  
地域との交流の方策として自治研活動に取り組んでいる。自治研活動を通じて感じた楽しさや充実感を、今後の組合活動・地域活動の一助となるよう取り組みを継続するとともに諸問題解決にむけて検討をしている。道本部とともに引き続き取り組みを進めたい。



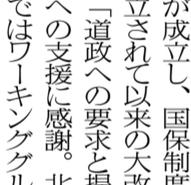
小森代議員  
(厚沢部町職)

■病院職員の組織化を得る  
松前病院は7月に病院長が退職。組合は地域医療と職員の雇用確保にむけて要求書を提出したが医師確保は難しい。地域医療を守るため、住民と一緒に運動を進めるのが重要。



岡村代議員  
(国保連労組)

■国保法改正は市町村と  
5月に国保法改正法案が成立し、国保制度が創立されて以来の大改革。「道政への要求と提言」への支援に感謝。北海道ではワーキンググループを立ち上げるなど市町村とともに諸問題解決にむけて検討をしている。道本部とともに引き続き取り組みを進めたい。



鈴木代議員  
(釧根地本)

■地方本部の統合一再編  
北海道で各地本の意見交換を行い、地方本部の役割を再確認し、新たな地方本部像の提言を目標に取り組む。弟子屈町に働きかけ、学習会を行うことを確認した。組織強化・拡大を取り組む。



伊藤代議員  
(津別町職)

■人事評価は労使交渉で  
人事評価制度は評価する側、される側ともに不明な部分が多く、モチベーションは上がらず不安をあおる状況。賃金を削減する道具にされてはならない。納得性、妥当性が得られる労使交渉が必要。情勢認識を一致させるために機関紙・ホームページの活用が必要。



田村代議員  
(札交労)

■交通政策担当者配置を  
自治労・都市交が統合一して4年間の経過措置が終了する。交通政策の浸透をはかるべく、各地本に交通政策担当者配置できる体制の構築が必要であり、現業公企都市交評議会「各地本」と二体となりの議論を開始したい。



森川代議員  
(上川地本)

■非正規の組織化取り組み  
非正規労働者の組織化



高橋道議会議員

■政治フォーラム報告  
J R北海道の赤字路線の存廃問題、道内空港の民営化問題、泊原発の再稼働、道人事委員会勧告後の対応など課題は多くあるが、道本部連携をはかりながら対応を行っていく。



平川特別執行委員

■中央情勢報告  
は、財源確保を明言せず無責任な対応を繰り返しているのは問題。連合は、社会保障・税の一体改革の推進と人への投資をはじめとして、暮らしの底上げの取り組みを進める。



川本中央執行委員長

■本部あいさつ  
行していることを広めるため中央・地方の重層的な運動が必要。参院選で組織内「えさき」は18万票を獲得したが自治労組合員は81万であり組織的力量の現状を受け止める必要がある。新規採用者非常勤職員組織化、女性参画の取り組みを強化するため、組合員、現場の声を反映し組織点検・強化をはかろう。



田丸代議員  
(全道労連渡島支部)

■政治フォーラム報告  
J R北海道の赤字路線の存廃問題、道内空港の民営化問題、泊原発の再稼働、道人事委員会勧告後の対応など課題は多くあるが、道本部連携をはかりながら対応を行っていく。



評議会などからの発言を含め全体で32本の発言で方針が補強された。賃金確定闘争は、人事院勧告を最低限として単組の課題をどれだけ前進させるかが課題である。政治の道具にさせない

### 討論のまとめ

大出委員長

めに、国会内外のたたか... 政治闘争について、参院選挙での取り組みでそれぞれ成果・教訓があった。今後のたたかひに必要... 北海道計画について、道本部執行体制も女性が6人となる。これを普通に行きたい。女性参加を意

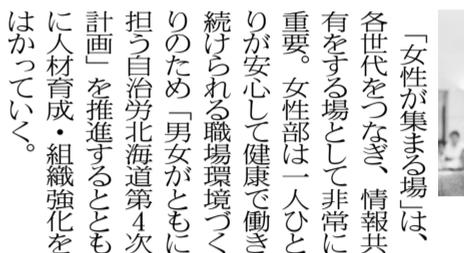
が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である。新採用者、非正規の組織化などの重点課題を全単組で取り組み道本部組織建設を進めてほしい。たたくは、結果も大事だが、それ以上にそこに至る経過を大切にしたい。組織全体がゴソゴソと動き出す躍動感を作ることを意識しよう。



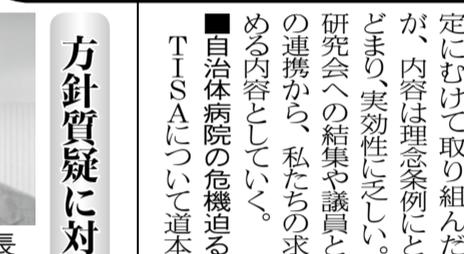
地域住民との連携を深め、社会保障制度の拡充を推進する。福祉職場等で働く多くの非正規労働者の組織化と処遇改善にむけた取り組み強化を。現業公企都市交評議会の



直営の維持・民間委託後の検証の必要がある。公共サービスを安定的に提供できる職場体制の構築にむけ、真の地方自治を確立するため、先頭に立つてたかろう。



「生活・職場実態変える」女性が集まる場は重要。各世代をつなぎ、情報共有をする場として非常に重要。女性部は一人ひとりが安心して健康で働き続けられる職場環境づくりのため「男女がともに担う自治労北海道第4次計画」を推進するとともに人材育成・組織強化をはかっていく。



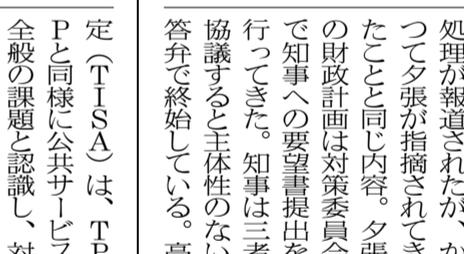
「女性が集まる場」は、各世代をつなぎ、情報共有をする場として非常に重要。女性部は一人ひとりが安心して健康で働き続けられる職場環境づくりのため「男女がともに担う自治労北海道第4次計画」を推進するとともに人材育成・組織強化をはかっていく。



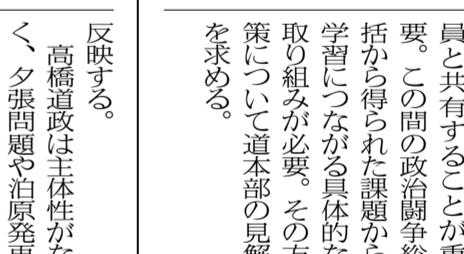
全道野球では地域経済への貢献をはじめ参加チームの協力を感謝。旭川フーリングクラブ研究会を立ち上げ公契約条例の制定にむけて取り組んだが、内容は理念条例にとどまり、実効性に乏しい。研究会への結果や議員との連携から、私たちの求める内容としていく。



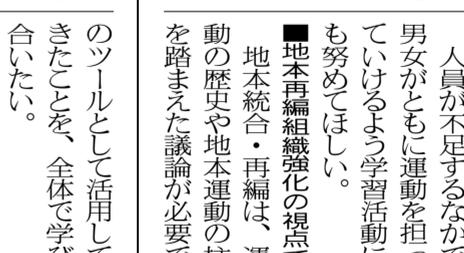
部としての見解を。医療現場では、地域医療構想のなかで縮小再編が求められ厳しい現状にあり、自治体病院として危機が迫っている。道本部の見解を伺いたい。



自治体病院の危機迫る TISAについて道本... ホッカイドウ競馬協賛レース「環ちゃんカン



2年前から渡島地本との統合議論を進めてきた。20年間の異なる歴史を歩んできた地本同士



道の会計操作、不適切処理が報道されたが、かつて夕張が指摘されてきたことと同じ内容。夕張の財政計画は対策委員会



組合活動の取り組み強化・活性化と並行し政策実現をめざすために、政治闘争の意義、など組合員と共有することが重要。この間の政治闘争総括から得られた課題から学習につながる具体的な取り組みが必要。その方策について道本部の見解を求める。

# 2016 機関紙・第49回写真コンクール 審査発表



**貴重な機会をとらえた写真多い**  
9月18日、札幌市・道本館内特別応接室で「第49回写真コンクール」の審査を行った。今年の写真コンクールには、19作品の応募があった。審査は、「北海道炭炭産写真コンテスト」の審査員でもある、写真家のKEN五島さんにお願いし、送られてきた作品を審査したうえで講評をいただいた。  
五島さんは、「平和への思いが伝わる写真が多かった。ピントや構図が甘くても、貴重な機会をとらえている素晴らしい作品が多かった」と講評した。



**優秀賞(2点)**  
「札幌交」札幌市交通労組



**最優秀賞(1点)**  
「江別市職労」江別市職労



**佳作(2点)**  
「ニュース」帯広市労連



**特別賞(1点)**  
「団結ニュース」帯広市労連



「全道庁あばしり」全道庁労連網走総支部  
「暁雲」札幌医大労組  
「変わらない 幸せな日常風景」恵庭市職労  
「明日へ」社保労連北海道地本  
「無題」札幌医大労組  
「いやし賞(10点)」



**優秀賞(4点)**  
「Ho-Hope For the peace」  
深川市職労  
野中翔太さん

【作品にかかわるエピソード】  
自分たちの結婚式の翌日、親戚一同訪れた動物園にて。夜には『ホーホー』と鳴いているであろうフクロウの星の姿。3羽仲良く目を閉じ、何かを祈るような睡ましい姿を収めた一枚。似たような顔の自分たちを彼らに重ね、こんな平和な時間がずっと続けばいいなと感じた瞬間。  
【講評】  
写真を理解して撮られている。左端の寝ているフクロウにピントを合わせて、他をぼかし浮かび上がらせている。それによって立体感がより増している。野生動物が、人が近くにいる大人しく寝ている平和な時間を人も動物も持てるということに感謝するという写真。



**優秀賞(4点)**  
「極上の寝心地」  
釧路市役所ユニオン  
越田絵里子さん



**虹の下で**  
札幌市職連  
前本博之さん

【作品にかかわるエピソード】  
お店にたった一羽羽が残っていたインコの雛を買いました。カゴを用意するまでの間、ウズラの飼育ケージに入れたのですが親と思ったらしく、擦り寄っていきウズラの上で眠ってしまいました。きっとお店での不安が解消されて安眠できたのだでしょう。そんな一コマです。  
【講評】  
写真はどんな機会を捉えるかで、記録的な写真ではあるが雛の寝顔が非常にかわいいうということ、人が近づいても警戒せず寝ており殺伐とした時代ではこうはならない。平和な雰囲気良く出ている写真。

【作品にかかわるエピソード】  
息子とこの綺麗な虹を見ることができ、平和だなと感じました。  
【講評】  
構図に安定感があり、噴水の躍動感とそこに現れた虹の色彩の豊かさが写真を際立たせている。子どもと一緒に来て平和な時間を過ごすことができる。そこに平和の象徴である虹が出ているということで説得力のある写真。



**いつまでも平和に笑顔で仲良く**  
函館市職労  
長谷川義樹さん



**「ふたりの平和」**  
全道庁労連札幌総支部  
今野徹さん



**「また地方の 鉄道が消えてゆく」**  
全道庁労連上川総支部  
村上和彦さん



**「いつも仲良し!」**  
函館市職労  
窪田俊哉さん



**「平和への導き」**  
石狩市職労  
吉田学さん



「光」  
函館市職労(家族)  
窪田七重さん  
「光」  
函館市職労(家族)  
窪田七重さん  
「光」  
函館市職労(家族)  
窪田七重さん

# 2017道本部大会 事前会議・各評議会報告

## 現業公企都市交評議会

### 2016現業公企闘争に全力をあげる

現業職場では政府が推し進めようとする「公共サービスの産業化」による「公共サービスの産業化」による事業が増加しており、財政健全化の理由に民間委託、民間委託などが進められている。こうした攻撃通職場では地方公営企業会計制度の



見直しにより、全国で赤字決算となる「2016現業公企統一闘争」を全力で取り組むとともに、質の高い公共サービスの実現にむけ地域・職場から取り組みを強化する。

## 社会福祉評議会

### 安心・安全のまちづくりの実現

社会福祉関係では、国の経済財政対策の中で見直し求められる、少子高齢化、地域格差の拡大も背景に大きな変革が起きようとしている。安心・安全に住み続けられるまちづくりの実現にむけ、社会保障サービスの充実に必要な制度改革、財源確保の取り組みを進め、地域住民のニーズに見合う保健・福祉・医療・介護の提供をすすめる。



「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい生活・職場実態でも、仲間とていねいに関わること、要求を、さらなる組織強化につなげていく。

## 女性部

### 誰もが安心して健康で働き続けられる職場づくり

組合員臨時・非常勤等職員など、自治体に働く女性たちが集まり、議論するなかで課題を整理し、独自の学習・交流をおこなって情報の共有、人材育成に取り組み、基本組織の機関会議などに積極的に参加し、女性の課題を意見反映する。



求闘争につなげ、安心して健康に働ける職場づくりを進めていく。学習・交流をおこなって情報の共有、人材育成に取り組み、基本組織の機関会議などに積極的に参加し、女性の課題を意見反映する。

## 青年部

### 「仲間の声、職場の事実」にこだわる

「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい生活・職場実態でも、仲間とていねいに関わること、要求を、さらなる組織強化につなげていく。



「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい生活・職場実態でも、仲間とていねいに関わること、要求を、さらなる組織強化につなげていく。

## 衛生医療評議会

### 地域医療を守る視点で取り組む

医療を含めた社会保障制度改革が進むなか、あらためて地域医療の重要性が求められており、看護師をはじめとする病院職場で働く者の離職防止や労働条件の改善、そして職場



医療を含めた社会保障制度改革が進むなか、あらためて地域医療の重要性が求められており、看護師をはじめとする病院職場で働く者の離職防止や労働条件の改善、そして職場

## 公共サービス民間労組協議会

### 要求・交渉・労働契約の締結めざす

委託等関連職場労働者の賃金・労働条件向上にむけ、委託内容、委託費などについてチェックを自治体単組と連携して取り組む。あわせて、指定管理者制度は、雇用不安や、賃金への影響が大きく制度上の問題点もあり、制度廃止も視野に入れ、取



委託等関連職場労働者の賃金・労働条件向上にむけ、委託内容、委託費などについてチェックを自治体単組と連携して取り組む。あわせて、指定管理者制度は、雇用不安や、賃金への影響が大きく制度上の問題点もあり、制度廃止も視野に入れ、取

## 消防職員協議会

### 団結権を見据え組織強化・拡大

消防職員の団結権回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組み、組織強化・拡大に総力をあげて取り組む。



消防職員の団結権回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組み、組織強化・拡大に総力をあげて取り組む。

## 臨時・非常勤等職員連絡会議

### 自らの問題解決に自らの力で取り組もう

正規職員との「均等待遇」を基本とした「同一価値労働・同一賃金」を求め、取り組みを行っているが、年収200万円以下の官製ワーキングプア状態であり「均等待遇」には程遠い状況にある。



正規職員との「均等待遇」を基本とした「同一価値労働・同一賃金」を求め、取り組みを行っているが、年収200万円以下の官製ワーキングプア状態であり「均等待遇」には程遠い状況にある。

### 委 員 会 告 白 道 人 事 委 員 会

# 引き上げ改定の早期実施 年内差額支給を求め

北海道人事委員会は10月7日、知事・道議会議長に対し2016北海道人事委員会勧告を行った。月例給のプラス較差(672円)に基づき、

人事院勧告に準じた給料表の引き上げ、総合的見直しにともなう現給保障措置により解消されない較差解消のため子に係る扶養手当を2016年4

月の通及し400円引き上げること、国や道内他市町村と0・1月の格差があった一時金については0・2月(年間支給月数4・3月)引き上げる勧告内容となり、国等の支給月数と並んだ。本年人勤期の大きな課題であった扶養手当については配偶者の引き下げと

子の引き上げが勧告された。地公三者共闘会議は、

勧告を受け、知事・教育長・道議会議正副議長・道議会各会派への要請行動を行い、引き上げ改定の早期実施・年内差額支給を求めるとともに、引き下げとなる配偶者に係る扶養手当の拙速な見直しは行わないよう強く申し入れた。



三井道議会議副議長に要請書を手渡す地公三者=10月7日、札幌市

- 【今年の給与勧告のポイント】**
- ＜2016年度の改定分＞
    - 給料表、一時金ともに3年連続の引上げ
    - 子に係る扶養手当の引上げ(400円)
  - ＜2017年度からの改定分＞
    - 扶養手当について、配偶者に係る手当額の引下げ、子に係る手当額の引上げ

10月5日、札幌市ホテルポロスタ1札幌で北海道消防職員協議会結成40周年記念祝賀会が開かれ223人が参加した。



祝賀会で菅原・道消防協会長は、「1977年9月に4単協443人で協議会を結成し、消防職員の環境を『民主的明るく風通しのよい

職場に』との思いでスタートした。現在は58単協2,438人まで拡大し、消防職員が抱える様々な課題に取り組んでいる。住民の安心と安全を守るという重要かつ困難な職務を遂行するにあたり、労働条件改善が必要である。そのためには団結権を回復することが喫緊の課題である。これまで政府は再三のILO勧告にも拘らず、消防職員の団結権を認めていなかったが、民主党政権下では着実に回復への道を辿ったものの、安倍政権の元で途切れている。引き続き自治労と連携し団結権回復にむけてたたかいを進める。また、消防の広域化に伴う消防職員の賃金・労働条件の統一など多くの課題がある。自治体単組との連携を強め取り組を進める」と決意を述べた。

## 自然災害への備え再認識

【日高地方本部発】  
新冠町職は8月26日、2016「自治労共済学習会」を新冠町レ・コールド館で開き、組合員38人が参加した。  
学習会では、自治労共済北海道支部及び全労済道央支店より、マイカー共済・住まいる共済に関する内容の説明があり、



職場だより

「自治労組合員」であるからこそ加入できる共済制度及び保障内容について学んだ。  
参加した組合員からは、「今の加入している保険と共済の比較をしてみよう」「車購入する前に見積りをお願いしよう」などの声も数多くあった。また、8月23日から北

海道へ上陸した台風9号の襲来により、日高地方においても多数の被害が発生したことから、自然災害への備えとして、共済制度の必要性を再認識することとなった。  
新冠町職は、2003年に自治労加盟と、日高地方本部のなかでも、一番遅くに自治労加盟した経

過もあり、今年7月から「団体生命共済」への新規加入の取り組みもスタートし、組合員に共済制度も少しずつ浸透している。  
今後においても、共済学習会や個別相談等を行い、積極的な共済推進活動の取り組みを



台風により、日高地方にも多数の被害があった

## 組合員の皆さんの協力を 台風10号等 災害救援カンパを実施

**カンパ金額**  
任意  
〔目標〕組合員1人500円  
**集約日**  
10月14日(第一次)  
10月31日(第二次)



道本部は、被害にあった関係自治体および単組等への見舞金、災害復旧にあたっては仲間への支援と激励などを目的に「災害救援カンパ」を取り組んでいます。組合員の皆さんの積極的な協力をお願いします。

**ZENROSAI NEWS** 51169142

全労済の住まいる共済  
あなたの住まいる保障

火事、地震、風水害、豪雨、台風

**新 自然災害共済 大型タイプ**

火災のときの保障があっても、風水害や地震の保障があるとは限りません。加入している保険や共済に風水害や地震の保障があるかを点検してみましょう。

新自然災害共済は、新火災共済に付帯してご利用いただく共済です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員にすれば、各種共済をご利用いただけます。

## ささきさんの国会だより⑫ 地方組織があつてこそ



北海道を襲った台風は道路の決壊・崖崩れをはじめ河川の氾濫、農地の土砂流入と流失、住宅・公共施設の床板浸水など多大な被害をもたらした。民進党は台風等災害対策本部を設置し、(私は副本部長)復旧について早急に取り組んでいる。検討を要する課題は、中小の工場・商店街のグループ補助金の摘要、ホロン

## 忙中余話

道本部第58回定期大会が終了し、既に2017年度がスタートしている。賃金確定闘争、現業公企統一闘争は11月17日を統一行動日として、一時間を上限とするストライキ戦術を配置し要求実現にむけたたかいを進めていくこととなる。そこで大切なのが組合員との往復活動である。要求のとりまとめから妥結まで、組合員の声をしっかりと集約し取り組を進めることで要求の実現ははかれるもの

(佐々木直人)

